

07月度 ^{例会} _{個人} 山行報告書		報告者	佐 溝	参加 メンバー	CL 佐溝直彦:*****
		報告日	07/06**		
山城	北海道 道央	山行日	09年 06月 26日 (金) ~		
山名	徳舜瞥・ホロホロ		**年 **月**日 (*)		

山行目的	新緑と花を愛でる ****	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	---------------	--------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)

1/2.5 万地形図:

大滝コース
天候: 晴れ・霞空
頂上は風強め

大滝区の登山口 (5合)
8:00 スタート
7合 (廃道分岐) 8:40
徳舜頂上 9:40~9:50
ホロホロ頂上を往復
(所要歩行1時間)
徳舜頂上 11:05~11:20
7合 12:12
登山口 12:55

〈山行報告〉
洞爺湖と支笏湖の中間に位置する2山で尖った徳舜瞥山とホロホロ山は双耳峰をなしている。私は徳舜瞥には6年前夏に登っているが低気圧の影響で頂上は猛烈な風と濃霧でホロホロには行けず引き返している。北海道だから妻がアイヌ刺繍をやってみたいとの希望有り、今日なら飛び入り OK との工房の返事で大滝行き決定、大滝なら徳舜瞥だ (工房と徳舜登山口は至近) となり今日は休む積もりが急きょ登山日になった。工房へ妻を送り登山口に 7:40 着・すでに数台駐車あり強い日差しの中スタート・すぐ樹林帯に入り新緑の道は緩やかに登っている、6合で小沢を渡り尾根に取り付く、道は整備されて歩き易い 8合からはサンカヨウ、ツバメオモト等に会える 9合付近からはハイマツ帯、頂上では岩を彩るかの様なミヤマアズマギクの群落が強風にビクともせず凜としているのに感動! 独立峰のピークはやっぱり強風だ、晴れてはいるが霞がかかり周りの山は白いベールに包まれている、近くのオロフレ山がやっと見える程度 360度の眺望を期待したが無理だった、静かな頂上でひと時。

ホロホロ山へはやせ尾根の降り・登り 30分で頂上、按部付近は花が多い、無人の頂上で弁当して再度徳舜に戻る。登山者 (地元の夫婦) と言葉を交わしてからゆっくりと下山にかかる、ハイマツ帯~樹林帯に入れば全く

風は感じられない、13時頃無事下山。帰路も工房 (藍葉麗・アイバレー) に立ち寄り妻と合流のんびりとコーヒータイム、近くの盤溪温泉で汗を流し走行 30分で伊達市の仮の我が家へ戻った。

《フリースペース》

確認 (リーダー)
佐
09/07/06
溝
作成 (報告者)
*
//**
*

〈リーダー所見〉
当地では人気の「ホロホロ・徳舜」とセットで呼び愛されている山だったので私もセットで登りリベンジしたかったから念願が叶えてよかった。麓の大滝区からは形良く望め・花も多く地元で愛されている事が納得出来る、大滝ではノルディックコースが整備されており夏は森林浴ウォーキング (私も少し歩いてみた) 冬はクロスカントリーコースで人気がある。

